企画展示

令和7年度（2025年度）市民による夏季展示

「めぐる・かわる・つながる　さがしてみよう！すいたの自然」



吹田の自然環境について関心のある市民を公募して結成した「すいはく自然発見隊」が、企画、運営をおこなう市民参画展示。「身近な自然をさがしてみよう」をテーマに、吹田市域でみられる動植物や、人と自然の関わりについて標本や剥製、民俗資料から紹介し、子供にもわかりやすく、楽しみながら学べるような展示とした。吹田市域の動植物の紹介にとどまらず、人と自然の関わりという歴史的視点も加える事で、本展のオリジナル性を打ち出していた。また、参加型の展示も取り入れ、展示と来館者が一体となる仕組みづくりに力をいれた。

アンケートでは、「体験できる展示があって、子供がよろこんでいた。」や「目撃マップ。すごくいい試みと思いました。」など体験型や参加型の展示に関する記述が好評だったが、それに加え、「都市部ながら自然も残っている吹田の今を、より知ることができました。」といった感想もみられ、「吹田の身近な自然に触れる機会をつくる」という展示の目標も達成できたと考えている。

会期	7月19日～8月24日	（32日間）
会場	特別展示室、ロビー	
出品点数	99点	
観覧者数	1,979人	
広報・取材	市報、博物館HP、吹田市Facebook、吹田市LINE、市立小学校全児童・中学校全生徒・保育所全園児にチラシ配布	


展示風景



展示風景



展示風景

関連イベント

実施日	イベント名	講師等	参加人数
7月19日	開会式＆展示解説	すいはく自然発見隊	38人
7月19日	講演会「吹田に残る巨大噴火の跡」	橋本定樹氏（吹田地学会会長）	51人
7月23日	クイズラリー	すいはく自然発見隊	44人
7月24日	自然と友だちになろう「芥川で魚取り」	桑原友春氏（高槻市立自然博物館）	19人
7月26日	森のクラフト	すいた市民環境会議	49人
	パタパタちょうちょをつくろう	すいはく自然発見隊	12人
7月27日	ファミリーパイロットスクール「空から眺める吹田の自然」	井原克行氏（元日本航空機長）	32人
7月30日	ギョ・ぎょ・魚・魚つり+缶バッジづくり	まちなか水族館	220人
	「ヒメボタル」紙芝居	吹田ヒメボタルの会	61人
	おもしろ・ふしぎ実験	すいはく自然発見隊	92人
	いきものにへんしん！工作	神戸女子大学ミュージアム同好会	99人
7月31日	博物館のお仕事とバックヤードツアー	竹原千佳誉（当館学芸員）	22人
8月2日	ワークショップ　パタパタちょうちょをつくろう	すいはく自然発見隊	13人
8月3日	自然の不思議を楽しもう	大阪森林インストラクター北摂支部	25人
8月6日	ゆめはく号がやってくる	鈴木武氏（兵庫県立人と自然の博物館研究員）	335人
	岩石と火山のふしぎ	吹田地学会	134人
	おもしろ・ふしぎ実験	すいはく自然発見隊	95人
	いきものにへんしん！工作	神戸女子大学ミュージアム同好会	92人
8月7日	古代のアクセサリー勾玉づくり	高橋真希（当館館長）・竹原千佳誉（当館学芸員）	83人
8月8日	チリモンをさがそう	吹田の川をしらべ隊	22人
8月9日	ワークショップ　パタパタちょうちょをつくろう	すいはく自然発見隊	26人
8月9日	鳥のおはなしあれこれ	こもしゃびの会	25人
8月10日	なりきり！川で「ガサガサ」スタイル ～糸田川・大正川に住んでる魚をさがしてみたよ～	吹田の川をしらべ隊	5人
8月13日	クイズラリー	すいはく自然発見隊	21人
8月15日	チリモンをさがそう	吹田の川をしらべ隊	25人
	ギョ・ぎょ・魚・おりがみ	まちなか水族館	40人
8月17日	ファミリーパイロットスクール「空から眺める吹田の自然」	井原克行氏（元日本航空機長）	22人
8月20日	クイズラリー	すいはく自然発見隊	7人
8月23日	ワークショップ　パタパタちょうちょをつくろう	すいはく自然発見隊	12人
		合計	1721人

企画・制作等（委託）　すいはく自然発見隊
担当　竹原